

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年2月26日

東松島・グリータウン応急仮設住宅ひまわり集会所

「ハッピードール」

この春には、大拳復興住宅への引っ越しが始まるとのこと、今の自治会でのワークショップは、今回も含め、あと2回。

みんなが、それぞれの自宅で日々を送る。ということは、実に当たり前のことなのだけれども、3年もの月日の出来事を思い起こすと、なんだかこの繋がりがプツッと途切れてしまうことに、切なさも覚えてしまいます。

本日集ってくださった方々の、手を動かしながらのおしゃべりも、いつもながらユーモアたっぷりで、高らかな笑い声があがることもしばしば。

そんなちょっとしたところにも、お母さんたちの生きる力を感じてしまいます。

ペットボトル入れや、クッション、型紙持参でケープを作り上げる方。

「何をつくればいいかわかんない。わかんないよ」と、つぶやきつつも、時間が終わる頃には、ちゃんと作品が出来ているのって、なんか凄いですよ。

前回の黒いワンちゃんに引き続き、毛足の長い生地で、赤い毛の犬のぬいぐるみをつくった方は、今回はホチキスを使って、制作時間をスピードアップ。

布と糸で、なにかをつくる。

必要なもの。もしかすると必要じゃないものも。

そんな、時間を楽しむ。楽しめる。

それは、意識していなくても、生きてゆくうえで、きっと大切な事柄なのだと思います。

